

2020年度 福祉と市民活動研究所・事業報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 事業の成果

新型コロナウイルスの感染により活動が制限されるなか、感染拡大防止の観点から活動のあり方を慎重に検討した。実施した事業として2020年度に関しては中野区社会福祉協議会からの依頼により、職員に対する研修会を2回、スーパーバイズを1回行った。また広く一般市民や福祉事業に関わる実践者、研究者と協働し、福祉と市民活動に関する調査・研究、ネットワーク構築に関する事業を進めた。

さらに、これらの取り組みを地域等に周知するために福祉と市民活動に関する実践や理論研究についての出版準備を進めた。

2. 事業

(1) 調査・研究事業

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、従来の調査活動は見送ることとし、市民、市民活動・地域福祉等に関心ある人を対象として、研究所所員を中心として「福祉と市民活動 創刊号・第2号」の発行、福祉と市民活動に関する本の出版（3月）、地域福祉資料データベースの整備（通年）をすすめたが、「福祉と市民活動創刊号・第2号」の年度内の刊行はできなかった。

(2) 人材育成・研修事業

① 社会福祉協議会スーパーバイズ (SV)

中野区社会福祉協議会から依頼された内容は、地区担当に対して2回（2地区）SVを行ってほしいというものであり、研究所として受託した。ただし新型コロナウイルス感染症の影響から1地区（S地区）1名に対して実施するにとどまった。方法としては、S地区担当1名に対して本研究所会員1名でのSVであったが、S地区の近隣地区を担当している職員及び管理職がSVのやりとりを見学した。

場所：中野区社会福祉協議会

SV:2020年12月8日（火）17:30～19:30 スーパーバイザー：小野（以下敬称略）

参加者：常勤職員9名

（S地区担当）1名

（S地域担当）3名

（総合相談担当者会）3名

（オブザーバー）2名 以上9名

SV実施を通じての評価（SVの効果や課題）

・スーパーバイザーの専門性が高く、地域診断や住民との関係構築等コミュニティワークの実践説明が的確であった。今後は今年度おこなったスーパーバイザーの継続的なSVと他職員のSVの増などが求められると思われるが、研究所としてのコミュニティワーカー向けのSV方法の確立などが課題となる。

② 社会福祉協議会職員向け研修会の実施

中野区社会福祉協議会から依頼をうけ、常勤職員全員を対象に2回実施



②—1 「地域福祉の推進役として、社協職員が担う役割とは」

日程 2020年11月5日(木) 18:15~20:00

場所 中野区産業振興センター

参加者: 常勤職員 20名

講師: 齋藤・山田・平野

研修を通じての評価

・講師3名の役割が明確でアンケートにおいても「差別や排除が目に見えないところでおこなわれていることにより生きづらさが助長される」「どこをむいて仕事をするのか」「業務に追われ今の業務を無難にこなそうとしている自分を反省した」「社協として地域課題の掘り起こしの大切さを思い出した」などの前向きなコメントが多く、職員のモチベーションの向上に資する内容であった。

②—2 地域診断の方法

日程 2021年3月3日(水) 18:00~20:00

場所 中野区産業振興センター

参加者: 常勤職員 20名

講師: 新井・山口

研修を通じての評価

・コミュニティワーカーとしてニーズ把握をおこなうにあたって基盤となるスキルアップの方法として、地域診断のスキルを学びたいという要望により実施した研修会。事前に綿密な打ち合わせを行い、事前にS地区の民生委員や専門職、住民から聞き取った地域の問題点をカードに作り、カードをもとに分類整理、取り組み課題の優先順位についてまとめ、コミュニティワーカーとしての業務を振りかえる内容を実施した。社協職員として優先して取り組む課題の整理に時間を割くことで職員の自己覚知を促す部分は評価できるが、今後の取り組みイメージを作成するまでの時間的余裕はなかった。同様の意見は中野区社協より上がっており、来年度以降、継続した研修会を望んでいる。

(3) ネットワーク構築事業

ホームページの効果的な運用を図り、本研究所の事業目的、実施事業、協力協働できる資源を公開し、広く市民や関係機関に周知した。

- ・ホームページアドレス:<http://www.fukushi-shimin.or.jp>
- ・メールアドレス:fukushis@fukushi-shimin.or.jp

3. 会務の運営

- ① 理事会の開催 2020年9月12日(土)
- ② 監事会の開催 2020年9月23日(水)
- ③ 総会の開催 2020年9月30日(水) 決議の省略にて実施した
 - ・第1号議案2019年度事業報告(案)について
 - ・第2号議案2019年度決算報告(案)・監査報告について
 - ・第3号議案2020年度事業計画(案)について
 - ・第4号議案2020年度予算(案)について

法人名: NPO法人福祉と市民活動研究所

活動計算書

2020年4月1日～2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	130,000	130,000
2. 受取寄附金		
3. 受取助成金等		
4. 事業収益		
その他の事業収益	156,000	156,000
5. その他収益		
受取利息	6	6
経常収益計		286,006
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
(2)その他経費		
事業費計		0
2. 管理費		
(1)人件費		
(2)その他経費		
旅費交通費	12,120	
通信運搬費	1,040	
その他経費計	13,160	
管理費計		13,160
経常費用計		13,160
当期経常増減額		272,846
III 経常外収益		
IV 経常外費用		
税引前当期正味財産増減額		272,846
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		621,079
次期繰越正味財産額		893,925

法人名: NPO法人福祉と市民活動研究所

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	893,925		
流動資産合計		893,925	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計		0	
資産合計			893,925
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		621,079	
当期正味財産増減額		272,846	
正味財産合計			893,925
負債及び正味財産合計			893,925

法人名: NPO法人福祉と市民活動研究所

財産目録

2021年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	1,200		
ゆうちょ銀行	892,725		
流動資産合計		893,925	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			893,925
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			893,925